

Y28c **みさと天文台全天モニタの開発**

小澤友彦（紀美野町みさと天文台）、尾久土正己（和歌山大学観光学部）、ほか紀美野町みさと天文台一同

全天モニタは、観測時の天候や観測データの質・信頼性を判断する上で重要である。そのため、さまざまな観測所、天文台、研究機関で設置が進んでいる。みさと天文台のような公開天文台においても、観望会や観測時の天候判断など必要性は高い。

これまで電子冷却 CCD やデジタルカメラを用い、教材開発を目的とした星空の定点撮影およびその技法の確立を行ってきた（2001 年春季年会 Y11c 他）。また、ここで培われた技術をもとに観測所や天文台の全天モニタの開発も進めてきた（2008 年秋季年会 V27b 他）。

本研究では紀美野町みさと天文台における全天モニタの開発を行った。カメラには Nikon D600、レンズは SIGMA Circular Fisheye 8mm/F3.5 を用いた。制御は Linux ベースの PC に gPhoto2 と呼ばれるフリーウェアを用いた。また、公開天文台の運営に合わせた閲覧用ソフトウェアの開発を行い試用している。

本講演では、全天モニタの機器および制御方法、ならびに閲覧用ソフトウェアについて紹介する。また得られた画像についてご覧頂き、今後の画像の公開も含めて議論する。

尚、本研究は科研費 (25350330) の助成を受け行われたものである。